

(別紙 1)

## 令和 2 年度当初予算要求のポイント

- 林業の成長産業化を推進するため、担い手の確保・育成に努めるほか、先端技術の活用やイノベーション等により林業の収益性・創造性の向上を図ります。
- 森林を持続的に管理する体制を構築するため、観光、教育、健康等、森林空間の多面的な利活用を推進します。
- 松くい虫被害に対応するため、アカマツ林の健全化に向けた総合的な対策を実施します。

### ◎担い手の確保・育成

- ・ 林業大学の男子寮棟の改築  
林業大学学校教育環境整備事業 (493,530 千円)
- ・ 若年層を対象とした、林業イメージアップ HP の作成、VR 等を活用した林業体験の場を提供  
森林整備担い手育成確保総合対策事業 (次代の担い手対策事業分) (500 千円)

### ◎林業の収益性・創造性の向上

- ・ 主伐をより進めるための県費嵩上げによる再造林の促進  
信州の森林づくり事業 (人工造林支援分) (48,600 千円)
- ・ リモートセンシング技術を活用した人工造林の施工管理の省力化  
林業イノベーション推進総合対策事業 (23,000 千円)
- ・ 市場ニーズの把握、商談の場の創出等、都市部における県産材の販路拡大を支援  
県産材製品コーディネーター設置事業 (2,500 千円)

### ◎森林空間の多面的利用

- ・ 民間のオフィス、店舗の木質化等、木に触れる機会の提供による県産材の利用促進  
木づかい空間整備事業 (40,800 千円)
- ・ 里山ビジネスにつながる地域住民が主体的に行う里山の整備・利活用への支援  
里山整備利用地域活動推進事業 (44,000 千円)

### ◎アカマツ林の健全化

- ・ リモートセンシング技術等を活用した松くい虫被害レベルを細分化したマップの作成  
松くい虫被害地森林経営管理対策支援事業 (5,000 千円)
- ・ 被害の拡大予防を目的としたアカマツ林の主伐・樹種転換の推進  
信州の森林づくり事業 (人工造林支援分) (48,600 千円) 【再掲】
- ・ アカマツ材の活用  
木づかい空間整備事業 (40,800 千円) 【再掲】